

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズサポートていーだ鈴川教室		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 16日		2026年 1月 23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2026年 1月 16日		2026年 1月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ひとりひとりの要望に合わせた活動の設定	・つま先歩きの改善の要望があり専門職が支援をおこない、改善に繋がった ・勝敗へのこだわりからの痼癖があり、利用時に勝敗ごとの活動をおこない、「ま、いっか」の練習を続けて改善に繋がってきている、支援内容について保護者様へお伝えしている ・困り事だけではなく得意なこともうかがい、得意なところを伸ばし自信に繋がれながら苦手なことへと取り組む	・面談やメッセージでのやり取りから、思いを引き出していく ・更なる支援の向上を目指し、職員間の情報共有や研鑽を積んでいく
2	・保護者様からの子育ての相談などに対して柔軟な対応	・保育園や家庭での出来事や困り事の相談に、できる限りお応えできるようにしている ・相談を受けて寄り添ったお声がけや対応の提案をおこなっている	・全職員が保護者様と関わりを持ち、申し伝えができる環境づくりをおこなっていく
3	・保護者様同士が関わりを持つ機会を設けている ・年に2回の保護者ネットワーク、ていーだカフェの開催 ・3教室合同での秋まつりの開催	・保護者ネットワーク、ていーだカフェでは外部講師をお招きして研修会と相談会、保護者様の座談会で悩み事や情報提供・共有をおこない繋がりを持つ会をおこなっている ・ていーだカフェの際にTシャツづくりの親子行事も取り入れた、秋まつりでは親子参加型の企画を考えて一緒に楽しむお祭りにした	・秋まつりは回数を重ねるごとにクオリティが高くなり、来年度は今年度を超えるお祭りを企画していく ・親子で参加することで家庭や学校で見られない表情を引き出していく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域との交流が少ない ・事業所での活動や過ごし方を周知して理解や災害時の協力に繋げたい	・コロナ禍や感染症の不安がある世相だった、その中でおこなうことに懸念があった ・付近に学童があるが、交流を図るために手続等があることを考えると業務を増やしてしまうのではないかと言い出せずにいる	・公園利用時にゴミ拾いをおこない、地域の方が利用時は挨拶をかわし、交流のきっかけになればと考える ・はじめから無理だと思わずに話を持っていってみる ・学童へお声がけするには目的や内容を文書にして分かりやすく準備する必要がある
2	・事業所の事故防止マニュアル、緊急対応時マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルがあるが保護者への周知できる場を提供を十分に出来ていない ・定期的な訓練の周知が十分ではない	・定期的訓練はおこなっているが、周知や説明の場が電子記録内になり未読のご家庭があった	・運営アプリ、SNSを活動して発信していく ・面談や送迎時に周知するようにする
3	・祝日の戸外活動への参加	・放デイ行事になっており児発の参加はなかった ・児発と放デイの合同で活動できる環境が必要だった	・3教室合同での戸外活動のため、職員を人数に合わせて振り分けるなど参加可能になるようにしていく ・保護者様のレスパイトケアに繋げていく